

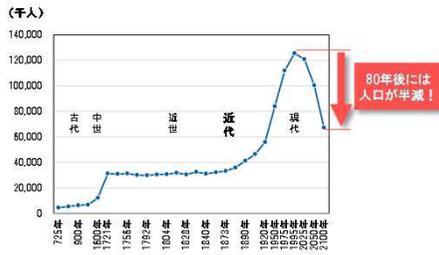
# 池田市環境学習基本方針【骨子】

イマジネーション&クリエイション～人や地域の未来を想い(想像)、自ら行動(創造)しよう～

## 背景

### 社会情勢

- 今までに経験のない高齢化・人口減少
- 地域の伝統や習慣、自然等と生活の関係の希薄化
- このような状況の中で、安定的な社会の運営が必要…
- ⇒広い視野から慎重に判断し、素早く柔軟な対応ができる社会や、
- ⇒人間を取り巻く環境のしくみを十分に理解しながら、公共的視点に立ち考え、行動できる人が求められる



### 池田市の特性

- 五月山や猪名川、田園の残る細河地域等のさまざまな環境資源に恵まれている
- 市立3R推進センター（エコミュージアム）を中心とした3R活動、市民共同発電、環境地域通貨iKeco等の多様な取り組みが展開
- 環境学習についても、企業による出前授業や大学生と連携した学習プログラム等を実施
- ⇒池田は環境に関する資源を豊富に持った「環境のまち」

「環境学習」からこそ  
明日を担う人づくりが実現できる

「環境学習」が、  
池田のまちづくりにおける  
戦略の要に

## 目標像・育む能力

### 環境学習の 目標像

身近な自然や社会への  
理解を持ち、多様な視点から考え、  
行動できる人・地域づくり

### キャッチ フレーズ

イマジネーション  
& クリエイション  
～人や地域の未来を想い(想像)、  
自ら行動(創造)しよう～



### 育む 4つの能力

①身の回りの環境への興味

②社会のしくみや自然との  
関わりへの理解

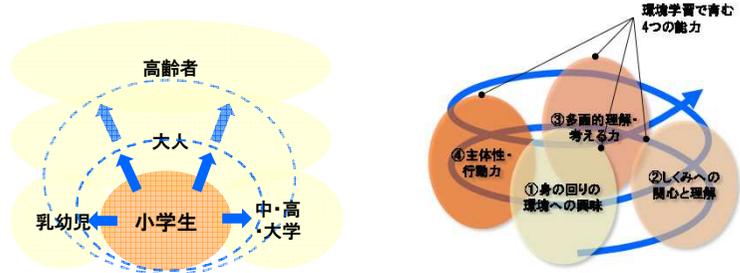
③多様な価値観の理解と、  
総合的に考える力

④地域へ主体的に関わり、  
自ら行動する力

## 取り組みの方向性と内容

### <目標像の実現に向けた方向性>

- 既に実施されている取り組み等を活用しやすい、小学校を中心に進めます
- 小学校から徐々に、他の世代へ広げていきます
- 身近な地域の環境や生活を素材として活用することで、4つの能力を育みます
- 各段階の学習を繰り返すことで、能力を深めていきます
- 資源の効果的活用、実施者の連携・発展のための体制を整えます



### <STEP1>

- 小学校を中心に取り組みを充実化
- ⇒出前授業の幹旋
- ⇒既存機会、行政施策と連携した学習推進
- ⇒大学・NPOと連携した学習の促進

#### 柱1

各小学校で  
“体系的”な  
学習を展開する

#### 柱2

家庭・地域へ  
波及する  
しくみをつくる

#### 柱3

実施者の連携・  
取り組みの発展を  
促すしくみをつくる

#### 柱4

サポート体制を  
構築する

### <STEP2>

- 小学校取組の発展、家庭への波及
- ⇒企業、団体等と連携した学習促進
- ⇒取り組みの位置づけ整理
- ⇒環境研究の表彰
- ⇒PTA活動を活用した学習の実施
- ⇒広報誌等による学習機会づくり

### <STEP3>

- 小学校取組体系化、サポート体制構築
- ⇒4つの能力を育成する学習の体系的展開
- ⇒各種地域団体と連携した取り組みの検討
- ⇒エコミュージアムでの窓口対応の実施等

等

等